

ワークシート「将来のかすみがうら市のために わたしたちが出来ること」 の代表意見

問1. 今日の出前授業をうけてみて、一番印象に残ったことはどんなことですか？

【下稲吉中学校】

- 講師の方の経験談のこと。(3件)
 - ❖ 講師の人生経験談のこと。自分も元気いっぱい、笑顔溢れる人になりたい。
 - ❖ 講師の経験談から、「仕事」ということの難しさや面白さなどが分かったような気がする。
- かすみがうら市の人口が減り、危機的な状況にあること。(2件)
- かすみがうら市の生産の多い商品の研究をする中で学んだことや経験したことを伝えてくれ、講師の方の「1度かすみがうら市を出た方がいい。」という意見に驚いた。
- 他の場所で学び、その後地元で役立ったことが見つけられたということが一番印象に残った。
- かすみがうら市の有名な食べ物を使って仕事をしている人がいる。
- このかすみがうら市には、僕らがまだ知らなかった魅力が沢山あることが分かり、その中でも食ブランド「湖山の宝」を地域が誇る「宝」として、かすみがうら市の魅力を全国に広めようという取組みが心に残った。
- 自分の好きなことを行っていて、素晴らしいと思った。とても明るく、仕事の話を楽しそうにされていて、良いなと思った。
- 有名人の衣装を作っているということが心に残った。
- 努力している人はやっぱり違うんだなと思った。頑張ってきたからこそ認められると思った。
- 講師の話が分かりやすく、親切だった。商品の魅力が分かった。
- 不安や心配に負けずに挑戦をしてみる事が大事であること。
- 好きな事であれば続けられること。
- 「地元愛」は地域を活性化させること。
- 漠然としたものでも夢を持つことが大事である。
- 「好きだから大変でない」、「不安を感じていたら次にいけない」という言葉が印象に残っている。将来もし自分が働きはじめた時に思うことが出来ると良いと思った。
- かすみがうら市での少子高齢化がとても印象に残り、どうしたら改善できるのかを考えたいと思った。
- かすみがうら市の良いところが話の中に沢山出てきて、改めてかすみがうら市は素晴らしい場所だと感じた。弁護士の仕事のイメージは難しく、頭が良い人しかないと考えていたが、話を聞いてみて、実際は楽しいと言っていたので意外であった。

【霞ヶ浦中学校】

- 講師の方の話を聞いて、北海道まで行ってもかすみがうら市に戻ってきて家業を継いでいるところに、かすみがうら市の良さを感じているんだと思った。自分自身、かすみがうら市はいい所で恵まれていると思った。
- かすみがうら市は、僕が思っているよりもずっとずっとすごい所なんだと感じた。特に佃煮は、かすみがうら市や茨城県の名産品で、これからのかすみがうら市にはとても必要なものなんだと思った。
- かすみがうら市には、私たちが思っている以上に、沢山の農産物などの資源があると知ったこと。茨城県がここまで沢山の農産物を作っていることは、知らなかった。
- 年が上がるにつれて、見える景色も違ってくるということ。しかし、夢は早めに考えておいた方が有利になるということが印象に残った。年々、かすみがうら市は人が減っているため、今の中学生は出て行かないでほしいということも印象に残った。
- ブルーベリー、いちごなどの特産物がすごいところ。自分の知らない所に沢山の魅力があるということが、今日の出前授業を受けて分かった。
- 日本、かすみがうら市の人口減少のこと。
- 今からでも自分の中の「やりたいこと」に対して、今できる行動をしっかりと行うこと。
- 簡単にあきらめないこと。あきらめずに進んできたからこそ今があると思った。
- ずっとかすみがうら市に居なくても良くて、都会に出ていろんな経験をして、全力でその市の発展に尽くしていけば良いということ。
- あきらめずに進んでいけば最後には形となって帰ってくる。どんなに高いものでも、それだけの価値が沢山あるということ。
- 教材 DVD で、かすみがうら市は少子高齢化に陥っているということが分かった。少子高齢化が進むと就ける職業は増えるけど、お金が無くなってしまうので、改善したい。
- 日本の人々の現状が分かった。今、自分たちが行動しなければ日本で格差が生じると思った。
- 沢山の人が大都市の東京などに集まってしまうと、この地域の産業が発展しなくなるのが分かった。

【千代田中学校】

- かすみがうら市の人口がどんどん減少していることにびっくりした。(5件)
 - ❖ かすみがうら市の人口が減ってきていること。その中でも4人に1人が高齢者の方だということが一番びっくりした。
 - ❖ 人口が近年減ってきていて、20歳くらいの人達が約400人減っていること。若い人の力が必要である。
 - ❖ かすみがうら市は人口が年々減っていて、東京の方に上京してしまう人が多いということがびっくりした。かすみがうら市も人口が減るのではなく、増えていくためには、今の私たちが良いかすみがうら市を創っていかなければいけないのかと思った。
 - ❖ 少子化についての話が出てきたのですが、猟友会での少子化の話しか聞いたことがなかったので、かすみがうら市は少子化が進んでいることがよく分かった。
- かすみがうら市はとても豊かな所だということと、少子高齢化が進んでいることが分かった。(2件)
 - ❖ かすみがうら市の現在についての映像で、人口がどんどん減少してしまっていること。また、かすみがうら市には果物や新鮮な魚など、沢山の魅力があるということ。
- PIZZAが安いこと。ペレットがエコにつながっていること。小さい時からの夢を叶えたから、それが今に繋がっていること。(2件)
 - ❖ PIZZAが安いこと。こだわりがあること。ペレットがエコであること。住宅街でピザと作ってもあまり煙が出なくてよい。子どもを育てながら、自分の好きなことを仕事にしてまちを少しでも支えようとしているのがすごい。
- かすみがうら市のために、一生懸命働いてくれているということ。サイクリングロードやフルーツなど、かすみがうら市の良さを伝えるために働いてくれていること。
- かすみがうら市の人口の変化、かすみがうら市の新たな良い所を発見することが出来た。
- ピザを今度食べに行ってみたいと思った。美味しいピザを住宅地でも作るお店があるのは、エコのためのペレットや地元ならではだからと思った。教材DVDでは、今のかすみがうら市の状態を知ることが出来た。東京の人も自然などを楽しみに来ていると言っていたので、これからもこの自然を大切にしていきたい。
- 自分が育ったまちでお店をやったりして、みんなが喜ぶと思った。好きなものを地元で出来ることは幸せだろうと思う。

問2. これから、どんな「かすみがうら市」になってほしいと思いますか？

【下稲吉中学校】

- 暮らしやすいまち。(3件)
 - ❖ 住みやすく、和やかなまちになってほしい。
- 自然が沢山ある市。(3件)
 - ❖ 自然豊かなまち。
 - ❖ 皆がいきいきと暮らしていて、自然あふれるまちにしたい。
- 全国、外国にもかすみがうら市の良さが分かってもらえる所。(2件)
 - ❖ 知名度が向上したまち。
- 人口増加したまち。(2件)
 - ❖ 少子高齢化が防止されたまち。
- 今のかすみがうら市の「農産物」や「自然」などのいい所を残したまま、他県からの人たちが「また来たい」と思える市になってほしい。(2件)
 - ❖ 他県からも観光客などがかすみがうら市に行ってみたい、住みたいと思われるようなかすみがうら市にしたい。自然を活かした取組みを実施し、人気のスポットとなると良い。
- 笑顔があり、生活が豊かなまち。
- 人口がもっと増えて、伝統的な食べ物や文化、技術などをPR出来るような仕事が沢山あるかすみがうら市になってほしい。
- 若い世代の人たちがこのかすみがうら市に残って仕事をしたり、子育てが出来るように、今まで以上に良い環境であるかすみがうら市になってほしい。
- どの分野のことでも発展して賑わう、訪れやすいまちになってほしい。
- 経済的な面などでどんどん発展して行きつつも、大都会にはならないでほしい。
- 特産物や湖など、色々な魅力を沢山のの人に伝えて、かすみがうら市や茨城県を有名にしていきたい。
- 自然環境の良さがあるかすみがうら市の人口が出来るだけ増えてほしい。
- ひとりひとりの意見が尊重される市。
- 地元を愛する人たちがかすみがうら市に住んだり、店を出したりして、いつでも賑やかなまちになってほしい。
- 人のぬくもりが感じられるまちになってほしい。
- 今までかすみがうら市は環境が良い所だったことから、これからもその環境を保っていきたい。

【霞ヶ浦中学校】

- 都市化と農業の発展の両立が出来るかすみがうら市。(3件)
- かすみがうら市全体の人々が楽しめるような所になってほしい。そして、笑顔あふれる素晴らしく自慢できる所になってほしい。(2件)
 - ❖ 地域の人々の笑顔が見られる、イベントの多い、笑顔の絶えない地域。
- かすみがうら市には魅力が沢山あるため、その魅力を知らない人たちに知ってもらい、人口が増えてほしい。
- 子育てをしづらいことが理由で出て行ってしまう人たちもいると思うので、今よりももっと住みやすい所になってほしい。
- もっと人口が増えていって、経済も安定しつつ、ひとりひとりが笑顔で安心・安全に暮らせるかすみがうら市になってほしい。
- ひとりひとりがしっかり自分の夢を持つことが出来る場所になってもらいたい。
- 日本で2番目に大きい湖の霞ヶ浦があることやレンコンや果物などの美味しいものが沢山あるので、もっと注目されてほしい。
- かすみがうら市から日本全体を盛り上げていけるような、活気がある市になってほしい。
- 今よりもずっと日本に注目されてほしい。今の良い所をもっと伸ばしつつ、良い所を大事にしてほしい。地域の人々同士の交流を増やす。

【千代田中学校】

- 観光客が沢山来て、人口も増えて、お店が沢山あって、テレビでも沢山紹介されるようなかすみがうら市になってほしい。(5件)
 - ❖ 人口が増え、決まりを守りながらも賑やかなまちになってほしい。観光する所も増え、沢山の人が来てほしい。
 - ❖ 人口が増えて、若い人がアイデアを出し合い、もっともっと発展して、かすみがうら市が最高の市になってもらいたい。
 - ❖ 自然が守られ、きれいな所になってほしい。いろんな人たちに遊びに来てほしい。
 - ❖ 人口が増え、新しいことに挑戦する自然豊かな絆の深い市になってほしい。また、観光客が多い市になってほしい。
- 人口が増えてほしい。公園が多くあると良い。まちの安全性や利便性が高くなってほしい。(2件)
 - ❖ 人口が増えてほしい。施設を増やしてほしい。市民みんなで出来るイベントを増やしてほしい。まちの安全性を高めてほしい。
- 笑顔あふれる、にぎやかで平和なかすみがうら市になってほしい。
- いつまでも豊かな土地であり続けるのと同時に、人口も少しずつ増えて行ってほしい。
- 街並みや自然は変わらず、若い人たちも沢山来る、賑やかなかすみがうら市になってほしい。
- 他の県の人からも沢山の人が来て、いろんな人にかすみがうら市の良い所を見てもらいたい。
- みんなが協力し合って元気な市になってほしい。年配の人や子供、大人の世代もみんなで伝統を伝えたり、今のことを教えてあげたりして、助け合って伝統もある新しいかすみがうら市になってほしい。また、自然豊かな所のゴミ拾いなどのボランティアをする。
- みんなが住みやすいようにショッピングモールやいろいろなお店が出来て、市民にやさしい感じになってほしい。

問 3. 「将来のかすみがうら市のために 自分たちが出来ること」は何だと思えますか。自分たちが出来そうなことを自由に考えてみてください。

【下稲吉中学校】

- かすみがうら市の有名な食べ物や魅力などを PR して、全国へ伝える。(11 件)
 - ❖ 人気のお店を SNS でアップして他県からも来てもらう。
 - ❖ 一度市外や県外に出て、市の魅力を伝えて、かすみがうら市に来てもらいやすくする。
 - ❖ かすみがうら市の魅力を自分たちで考え、広める。
 - ❖ ホームページなどで「かすみがうら市の良い所」などのことを出す。
 - ❖ 違う県や市の友達に魅力を伝える。
 - ❖ かすみがうら市の魅力を日本全国、外国にも伝える。
 - ❖ かすみがうら市といえば「霞ヶ浦」で、日本で第 2 位という広い面積を持っているため、その素晴らしいことを皆に知ってもらいたい。また、れんこんや果物など、かすみがうら市での名物は沢山あるため、その美味しさを皆に知ってもらうために試食会を開きたい。そして、沢山人から「かすみがうら市ってこんなにいい所なんだ！」という風に言われるように努力を重ねていきたい。
- かすみがうら市のイベントに色々な人を誘って参加したりする。(3 件)
- 自然を活かした取組みやかすみがうら市の良い所が減ってしまうため、かすみがうら市の自然を破壊しないこと。(2 件)
- 自分たちでイベントを作る。
- 環境について、ひとりひとり考えて行動する。
- 将来のかすみがうら市のために自分たちが出来ることは、今ある物を大切にすることだと思う。今ある物として、かすみがうら市の特産物や水産物を残し、次の世代に続けることからだと思う。
- かすみがうら市の有名なブルーベリー狩りや梨狩りなどの観光ツアーを作る。
- 将来、かすみがうら市の特徴を活かした仕事をしたい。
- 地元で働いて、かすみがうら市の魅力を伝えていくこと。
- もし子育てをする時は、かすみがうら市です。最終的には、かすみがうら市に戻ってくる。
- かすみがうら市に戻ってくることが大切。学んだことを活かす。
- 人生の終着点として「かすみがうら市」があればいいと思う。(店はここで持つ、ここに戻ってくるなど。)
- かすみがうら市で出来た果物、野菜などの食べ物を食べる。
- かすみがうら市を住みやすい街にするために、かすみがうら市を改善していくこと。
- かすみがうら市をきれいにし、人々が目につくようなものを作る。
- かすみがうら市に有名なサッカーチームを作る。
- 観光地をたくさん作る。

- ゴミ拾いなどといったボランティア活動に参加する。
- かすみがうら市を好きでいる。
- 出来ることを考えること。
- 公共のものを大切に扱う。
- 観光施設などを建てていくことも大切かもしれないが、「住みやすい」ということを大切にしていくことも大切である。例えば、「バス」や「電車」などの交通、「病院」などの施設、これらがしっかりしていれば、地元の人や観光客もいい所だと思うことが出来る。その一歩に必要なのが清掃である。
- 今、自分たちが出来そうなことは、知名度を上げることだと思う。そのためには、かすみがうら市の長所である自然が豊かであることをうまく利用して、ポスター作成やビラ配りなどをして必ず近県の人たちに知ってもらおう。そのほか、濁ってしまった霞ヶ浦の整備、募金などのボランティア活動を行う。

【霞ヶ浦中学校】

- 市のイベントを増やし、積極的に参加する。(5件)
 - ❖ あゆみ祭りやかすみがうらマラソンといった地域のイベントに参加する。
- 環境に適したものをもっと増やす。(3件)
- 特産品を使った食品を都市でアピールする。(3件)
- 交通機関を増やす。(3件)
- かすみがうら市にテーマパークのような施設を作る。(3件)
- 霞ヶ浦をきれいにするなど、観光名所を作る。(3件)
- 「地産地消」を心がける。(2件)
- かすみがうら市から離れず、もし離れたとしても、かすみがうら市に戻ってきて地域を活性化したい。
- 漁業、農業などに興味を示し、自分達から進んでそれらに取り組むこと。
- 今のうちに、自分達で今のかすみがうら市に足りない所、必要な所をよく理解して、今の私たちが大人になった時にかすみがうら市を活性化させるために努力する。他の県や地域に住んでいる人に、かすみがうら市のアピールを沢山する。
- まず、自分の住む地域をよりよくすること、そして、その良さを市全体に発展させていくことが行えるようになりたい。
- 少しでも気遣いの心を持ち、「ありがとう」の言葉を忘れないようにする。年齢関係なく親しく交流するようになる。
- 体験学習（キッズダンス、子ども大学）などに積極的に参加し、地域の人と触れ合う。
- かすみがうら市の歴史を調べてみる。
- 何よりも、自らかすみがうら市を好きになる。
- 何よりもかすみがうら市を大好きになって、かすみがうら市の素晴らしい所を沢山見つける。
- 私は、将来の夢のためにかすみがうら市からは出ていくと思う。しかし、将来私が住んでいる街を自ら進んで発展させ、日本を少しでも変えていける努力をしたい。その努力がかすみがうら市に少しでも届くように、かすみがうら市の良い所を人々に広めていきたい。
- 沢山の人がかすみがうら市の良い所を知ってもらえるよう、夏休みの美術作品としてポスターなどを作る。
- かすみがうら市にしかないようなものを見つける。
- 今を大切に生きる。

【千代田中学校】

- かすみがうら市の魅力を市外の人に伝える。(5件)
 - ❖ かすみがうら市の良い所を全国に伝えて、観光客を増やす。
 - ❖ PRする。
 - ❖ 世界にかすみがうら市の良さをアピールする。
 - ❖ 豊かな所だということを知ってもらい、かすみがうら市のいい所を知ってもらう。
- 地産地消を行う。(4件)
 - ❖ 地元の食材を使う。
- 地域の人々と仲良くする。(4件)
- 街を汚すようなことをしない。(3件)
 - ❖ かすみがうら市の良い所をまとめたり、地域を大切にしながら過ごす。
 - ❖ ボランティア活動を行い、ゴミを減らす。
- かすみがうら市の魅力をもっと知ってもらい、自分たちがアイデアを出し合い、将来はそれを実行できるよう頑張る。(3件)
- かすみがうら市の有名な特産物を使ったデザートや食べ物などを開発し、観光客を増やす。(3件)
- 観光地を増やして、観光客を増やす。(2件)
- 環境保護を行う。(2件)
- 動画やポスターでかすみがうら市をPRする。(2件)
 - ❖ YouTubeにかすみがうら市のいい所を撮影した動画をアップするなど、かすみがうら市の観光サイトのようなものを作る。
- 募金を呼びかける運動をする。(2件)
- 商品を開発する。(2件)
- かすみがうら市から抜けない。
- 霞ヶ浦をきれいな状態にする。(自然に良いこと)
- 植林をして、自然豊かにする。空気がきれいになる。
- 都市化をしない。
- 将来は自分のしたい職業をしながら、かすみがうら市に役に立つこともする。
- 交流会を開く。